

3回連続で一挙公開！

ドキュメンタリー映画
子どもに本を
—石井桃子の挑戦



©Tokyo Kodomo Toshokan

3作品 連続上映会 いずれも、森英男氏の解説付き

I ノンちゃん牧場

平成30年 3月11日 (日)
14:00～16:30 (開場13:30)

II 『子どもと文学』

平成30年 3月18日 (日)
14:00～16:30 (開場13:30)

III かつら文庫

平成30年 3月25日 (日)
14:00～16:30 (開場13:30)

会場：アンフォーレ本館 ホール (アクセスは裏面をご覧ください)

対象：一般 (小学生以上) 託児なし 定員：200名 (先着順) 参加費：無料

お申込み・お問合せ先：平成30年2月7日 (水) から



氏名、電話番号を明記の上、電話、ハガキ、ファックス、メールのいずれかで
図書情報館へお申込みください。各回それぞれのお申込み可。

●安城市アンフォーレ課 (安城市図書情報館)

〒446-0032 愛知県安城市御幸本町12番1号

Tel. 0566-76-6111 Fax. 0566-77-6066 メール tosy@city.anjo.lg.jp

主催：安城市アンフォーレ課

●石井桃子 (1907～2008)

埼玉県浦和市生まれ。日本女子大学卒業。文藝春秋社、新潮社、岩波書店に勤務。戦後、宮城県で農業を営む時期もあった。1950年より「岩波少年文庫」の編集をはじめ、作家、翻訳者として活躍の一方、自宅に家庭文庫を開き、地域の子どもたちに本の貸出をした。

代表作『ちいさなうさこちゃん』『クマのプーさん』『ノンちゃん雲に乗る』『幻の朱い実』『三月ひなのつき』他。

日本の子どもものの本の世界に貢献した最大の功労者の一人である。



映像作家 森 英男
(DoDo企画 Kasabutakun FILM)

2007年の春、石井桃子さんが100歳を迎えたことを知りました。『ノンちゃん雲に乗る』の石井桃子？『クマのプーさん』の石井桃子？一瞬にして小学2年生の教室の記憶がよみがえり「ほんやく いしいももこ」のことを調べはじめました。……

DoDo企画 Kasabutakun FILM 製作

ドキュメンタリー映画

子どもに本を——石井桃子の挑戦



©Tokyo Kodomo Toshokan

I ノンちゃん牧場

宮城県栗原市鶯沢、1945年8月15日の玉音放送の後、石井さんは友人たちと農場建設のために開墾をはじめました。後にここは「ノンちゃん牧場」と呼ばれます。この牧場でのこころみは、後の石井さんの活動の原動力になります。すべてここからはじまったのです。



©Tokyo Kodomo Toshokan



©Tokyo Kodomo Toshokan

II 『子どもと文学』

1954年、石井さんは欧米視察に出発します。黄金期を迎えていた児童図書館と子どもの本の出版状況を見るためです。石井さんを待ち受けていたのは、その後、生涯の友人になる児童図書館員と編集者でした。「日本でも児童図書館をこのように充実させよう！」あらたな挑戦がはじまりました。

III かつら文庫

1958年3月、石井さんは自宅に、小さな図書室「かつら文庫」を開きます。「子どもと本を一つところにおいて、そこにおこるじっさいの結果を見てみたい」石井さんは「かつら文庫」をひらいた理由をこう記しています。子どもたちと向き合うことは、驚きと発見の連続でした。残された資料と関係者の証言をもとに、かつら文庫のあゆみをたどります。

●会場へのアクセス * JR安城駅から徒歩5分

